

令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



奈良県

令和1年10月28日(月)大和郡山市にあるコミュニティセンターや集会所に言語聴覚士が訪問しました。そこで行われている介護予防活動「いきいき100歳体操」に参加されていた40名に対し、言語聴覚士の啓発活動を行いました。活動内容は、新たに制作した言語聴覚士を紹介したチラシの配布、言語聴覚士の認知度調査、嚙下体操等を実施いたしました。チラシには言語聴覚士の職能活動についての紹介と、言葉や飲み込み等について気軽に相談ができる窓口を掲載しました。認知度調査では、集まった40名の方に「言語聴覚士を聞いたことがあるか」と質問したところ、聞いたことがあると回答した方が0名という結果となりました。また、嚙下体操では、積極的に体操に参加してくださり、飲み込みに関して多くの方から質問や悩みを話がありました。今回の活動では一部地域の方々に言語聴覚士について知っていただくことができましたが、今後は活動範囲を広げて多くの地域に対して言語聴覚士としてできる関わりを増やし啓発していきたいと考えています。

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会
なら言語聴覚の日の集い2019 実行委員長 池上 浩平

**「話す」「聞く」「食べる」のスペシャリスト
言語聴覚士(ST)**

Q 言語聴覚士って、どんなお仕事なんですか？

A 「話す」「聞く」「食べる」を専門とするリハビリ専門職です。それらに悩んでおられる、奈良にお住まいの皆さまの元気を、私たちがお手伝いします！

連絡の機会、お問い合わせは
奈良県言語聴覚士会

ご紹介します!!
言語聴覚士の仕事とは

コミュニケーションや食べる障害に対応
脳卒中後の言語障害(失語症、構音障害)や嚙下障害、こびり付きの嚙下、声や飲食の障害など、ことばによるコミュニケーションの障害の多くに対応いたします。
言語聴覚士はこうした障害の発症や発症メカニズムを明らかにし、対応策を立案する為に検査、評価を実施、必要に応じて薬物、栄養、嚙下、その他目的活動を行う専門職です。さらに最新や最新技術の導入のもと、嚙下訓練や人工的嚙下の調整なども行います。

コミュニケーションや食べる障害に対応
嚙下障害
嚙下訓練
嚙下訓練
嚙下訓練

医療、福祉、福祉、教育分野などで活躍

言語聴覚士は医療機関だけでなく、保健・福祉施設、教育機関など幅広い場で活躍。こびり付きや嚙下を専門とする方とご連携を心がけています。

医療機関 大学病院、総合病院、専門病院、リハビリテーションセンター、地域福祉、介護施設など

福祉施設 介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問看護ステーション、地域福祉、介護施設など

福祉施設 特別養護老人ホーム、デイケアセンター、訪問看護ステーション、地域福祉、介護施設など

教育機関 小学校、特別支援学校、特別支援学級、特別支援学校(盲、聾、盲聾、知的障害)など

お問い合わせ先
西大和リハビリテーション病院
〒634-0292 yqgn51656@yahoo.co.jp TEL 0745-71-1111
担当:言語聴覚士 池上にご連絡ください。

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会
NARA Association of Speech-Language-Hearing Therapists

